

網 領

一、われわれは、自由で民主的な社会をつくり、世界の平和と文化国家の発展に貢献する。  
 二、われわれは、教育専門職としての使命を自覚し、健全な青少年の育成に努める。  
 三、われわれは、社会的責任を自覚し、国民の支持のもとに中正不偏の教育を推進する。  
 四、われわれは、教職員の社会的・経済的地位と資質の向上に努める。  
 五、われわれは、主体性を尊重し、同志の結集を図る。

NTFJ 全日本教職員連盟(全日教連)ホームページ  
 URL: http://www.ntfj.net/

発行所: 全日本教職員連盟(全日教連) 〒102-0083 東京都千代田区麹町3丁目7番地 半蔵門村山ビル TEL.03(3264)3861 毎月10日発行 定価1部50円 (年1,000円送料とも) 会員の購読料は会費の中に含む

全日教連

# 教育新聞

The National Teachers Federation of Japan

おもな記事

- 全日教連全国調査……………2面
- 全日教連この1年、第6回親守詩全国大会…3面
- 全日教連役員選挙当選公示…4面
- 極上の一冊、単位団体あれこれ

# 教育の正常化を目指して35年

## 組織結成の原点を見つめ更なる前進を!

全日教連は、二月二十三日、都市センターホテル(東京都千代田区)において、「全日本教職員連盟結成・日本教育文化研究所設立三十五周年記念躍進大会」を開催した。教育正常化を目指して全日教連が活動を始めてから、三十五年の節目を迎えた。全国から元役員・会員約百六十名が集まり、この日を迎えられたことを喜び合うと共に、これからの更なる飛躍を誓い合った。

記念式典には、文部科学省より柴山昌彦文部科学大臣、自由民主党より井上信治衆議院議員、公明党より三浦信祐参議院議員、台北駐日経済文化代表処より黃冠超教育部部長、記念祝賀会には、船田元衆議院議員、田中和徳衆議院議員、赤池誠参議院議員、磯崎仁彦参議院議員をはじめ多く

の御来賓に御臨席を賜り、御挨拶をいただいた。郡司隆文全日教連委員長は、挨拶の中で、「全日教連の三十五年に亘る真摯な活動の積み重ねは、国民からの大きな信頼と期待に応え、各方面から高い支持を得るに至っている。現在、学校現場では、新学習指導要

領の完全実施を見据えた様々な準備、及びいじめや不登校等、ますます深刻さを増す教育諸課題への対応等に追われている。一方『学校における働き方改革』を実現するための方策が検討されたり、実行されたりしているところである。『ブラック学校』という世間の評価を覆すことで、優秀

な人材が教職員を志すことが一層できるよう、そして教育専門職である教職員が、子供たちとしっかりと向き合うことができるよう、現在進行している『学校における働き方改革』は、なんとしても着地させなければなら

ない。また、本年五月には新たな時代が幕を開ける。約二百年ぶりの御譲位は、我が国の歴史・伝統・文化を、まさに体現する慶事であり、『美しい日本人の心を育てる』という全日教連の理念に直結するものであると考える。『昭和』に誕生し、

また、本年五月には新たな時代が幕を開ける。約二百年ぶりの御譲位は、我が国の歴史・伝統・文化を、まさに体現する慶事であり、『美しい日本人の心を育てる』という全日教連の理念に直結するものであると考える。『昭和』に誕生し、

『平成』を経て、新たな時代に向け、三十五年という節目を迎えることができた。私たちは、これからも、諸先輩方が心血を注がれた教育正常化団体結成の原点を見つめ、我が国の教育の充実・振興のために教育専門職としての誇りと責任をもち、活動を進めていく」と述べ、力強く今後の飛躍を宣言した。

続いて、野原明教文研所長は、「教文研は、全日教連が活動するための理論構築や資料収集を行いながらともに三十五周年を迎えた。また、教育研究の分野においては、各参加団体から研究部員を募り、学校現場で活用しうる研究・実践を行っている。今期の研究では、道徳の評価についての研究を行った。教文研はこれからも研究事業を更に深めていきたいと述べた。

柴山昌彦文部科学大臣からは、「全日本教職員連盟は、『美しい日本人の心の育てる』という基本理念の下、昭和五十九年の組織結成以来、教育専門職としての使命を自覚し、教育上の重要課題について活発な議論を交わしつつ、自己研鑽に励んでこられた。また、日本教育文化研究所は、全日教連の理念を実現するための活動を通じて我が国の教育の発展に寄与してきた。皆様の長年に亘る努力に対して深く感謝と敬意を表する次第である。本日の三十五周年を契機としてこれまで以上に国民の信頼を得られる教職員団体、研究所として教育活動を展開していくことを期待している」と激励の言葉をいただいた。

その他の来賓からも祝辞や激励の言葉をいただいた。今後の活動をより充実させ、組織をしっかりと強化・拡大させていく決意を新たにすることができた。



記念式典で挨拶する郡司隆文全日教連委員長

## 全日本教職員連盟結成・日本教育文化研究所設立 35周年記念躍進大会

### 式次第

- 一 開式の言葉
- 二 国歌斉唱
- 三 全日教連委員長挨拶
- 四 教文研所長挨拶
- 五 来賓祝辞
- 六 来賓紹介
- 七 祝文披露
- 八 全日教連の歌斉唱
- 九 万歳三唱
- 十 閉式の言葉

また、野原明教文研所長は、「教文研は、全日教連が活動するための理論構築や資料収集を行いながらともに三十五周年を迎えた。また、教育研究の分野においては、各参加団体から研究部員を募り、学校現場で活用しうる研究・実践を行っている。今期の研究では、道徳の評価についての研究を行った。教文研はこれからも研究事業を更に深めていきたいと述べた。



柴山昌彦文部科学大臣

### A-1に優る人間の力とは

#### 新井紀子氏記念講演

記念講演冒頭で新井氏と、「近くの美味しいイタリアンレストラン以外に入れるか」プロジェクトを始めた経緯について、「大学入試を目指す高校生とA-1を大学入試で競わせ、その結果を知らせることで、A-1に職を奪われることの現実味を世の中の人に感じてもらうために行った」と述べた。

次にA-1の特性について、そのために学校現場での説明で、例としてスマートフォンで「近くの美味しいイタリアンレストラン」と検索した場合、

「今後、中学校を卒業するまでに、全ての子供たちが中学校の教科書を正確に読めるようにすることが公教育の最重要課題である」と主張した。「今後、教科書が読めない弊害として予想されることは、学習者が、自分では学習できないため、新たな技術が学べずA-1に職を奪われるようになることだ。これにより非正規雇用の拡大や貧困層の増大、延いては、人口減少に拍車がかかる」と危惧した。



記念講演を行う新井紀子氏

全日教連の会員へは、「授業への理解度を高めるためにリーディングスキルテスト等を実施し、クラスの子供たちの基礎的読解力を把握した後、A-1よりも人が優っている読解力を向上させるべく、授業作りに努めてほしい」と述べた。

か?」と題して、国立情報学研究所社会共有知能センターセンター長・教授、一般社団法人教育のための科学研究所所長

・代表理事の新井紀子氏による記念講演が行われた。記念講演終了後には、記念祝賀会を行い、元役員、会員がともに、三十五周年のこの日を迎えられたことを喜び合うと共に、これからの更なる飛躍を誓い合った。